「ものがたり」のはじまり













● 『ちいさなうさこちゃん **』**

〈子どもがはじめてであう絵本〉 ディック・ブルーナ/ぶん・え 石井 桃子/訳 福音館書店

「あかちゃんが おうまれになって おめでとう | ちいさなうさこちゃんをみに どうぶつたちがやってきました。



● 『こぐまちゃんおはよう **』**

〈こぐま社の創作絵本〉 若山 憲/著 こぐま社 こぐまちゃんは、かおをあらってごはんを たべて、いっぱいあそんでねむります。



● 『きゅうりさんと とまとさんと たまごさん』

〈あかちゃんのおいしい本〉

松谷 みよ子/ぶん ひらやま えいぞう/え 童心社

きゅうりさんと、とまとさんと、たまごさんが、 くつにのって、みずのなかを、すいすい、 ちゃぷちゃぷ。



● 『たまごのあかちゃん』 〈幼児絵本シリーズ〉

かんざわとしこ/ぶん やぎゅうげんいちろう/え 福音館書店

にわとり、かめ、へび、ぺんぎん、 きょうりゅうのあかちゃんが、たまごのなかから 「こんにちは」とでてきました。

*どうやって読んだらよいか わからない

たいせつなのは、読む人がその絵 本を好きになることです。読む人が「お もしろい」と思うと、自然に読み方や おはなしの仕方がじょうずになって きます。一字一句そのまま読まなく ては、と気にする必要もありません。 子どもの反応をみながら読みましょう。 まずは、絵本をなかだちにして、子ど もとたくさんおはなしをしてください。



大阪府立中央図書館では、さわる絵本や点 字絵本、外国語の絵本などが利用できます。 大阪府立中央図書館 http://www.library.pref.osaka.jp/

発 行:大阪府子とも読書活動推進連絡協議会 事務局:(財)大阪国際児童文学館

URL http://www.iiclo.or.jp/ TEL 06-6876-8800

FAX 06-6876-8686

〒565-0826 吹田市千里万博公園10-6 平成22(2010)年2月

絵本を選ぶために

とっておきのアドバイス

あかちゃんには、いろいろなあそびが必 要です。声をかけて、からだにふれて、 いっしょにおもちゃであそび、そして絵本 を見ながらおはなしもする。ここでは絵 本をとりあげて、0、1、2歳児のための 絵本の選び方や、保護者の方の接し方 などを広く解説しました。ご紹介している 絵本や説明はあくまでも参考です。一人 ひとりのお子さんの興味や反応にあわせて、 親子で絵本を楽しんでください。



Tenton D C C C C























「うた」







● 『きゅっ きゅっ きゅっ 』 〈くつくつ あるけのほん〉 林 明子/さく 福音館書店 おいしいスープがこぼれました。 きゅっきゅっきゅっとふいてあげます。



● 『くらいくらい 』 はせがわせつこ/ぶん やぎゅうげんいちろう/え 福音館書店 くらーいなかに、くろいかげ。でんきをつけると、 ぱっ。ことりのピーちゃんや、かえるのケロッパ、 いぬのさぶちゃんたちがあらわれます。



●『おはよう』〈あかちゃんのほん〉 まつい のりこ/さく 偕成社 「おはよう」からはじまって ごはんをたべて、いっぱいあそんで 「おやすみなさい」。



●「あかちゃんのうた」 〈松谷みよ子あかちゃんの本〉 松谷 みよ子/著 いわさきちひろ/絵 童心社 「おむつをかえましょう」 「うさぎ」など あかちゃんにかたりかけるうたがいっぱい。



● 『おきて おきて』

〈ワイルドスミスのちいさなえほん〉 ブライアン&レベッカ ワイルドスミス/作 香山 美子/文 フレーベル館

おんどりがあひるをおこし、あひるはひつじ をおこし、ひつじはやぎをおこします。 さいごはみんなであさごはん。



『わたしの』 三浦太郎/作・絵 こぐま社 ちいさい いす、ちいさい おちゃわん、 ちいさい はぶらし、ちいさい くつ、 みんな わたしの。



●『したく』 〈あかちゃんのえほん〉 ヘレン・オクセンバリー/作 文化出版局 シャツをきて、くつしたをはいて、うわぎを きて、おでかけのしたくができました。



〈あかちゃんのためのえほん〉 いもと ようこ/絵 講談社 「ぞうさん」「ちょうちょう」「どんぐりこ ろころ」など、よくしっているどうように きょくもついています。

親子で絵本を 楽しめるのはいつ?



生後4ヶ月くらいからすこしずつ楽 しめます。あかちゃんとのふれあい に絵本でおはなしをしてみてくだ さい。じっとみつめてくるでしょう。 絵本を見ながら話しかけ、あかちゃ んとのひとときを楽しみませんか?

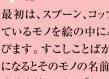
絵本には どんな特徴があるの?

絵本の絵は実物そのものではあり ませんが、絵を見ながら「リンゴよ」 などとことばがかけられると、あか ちゃんは実際のリンゴを想いおこし ます。想像力を育てるのに、絵本が ひとつの助けになってくれます。



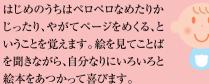
モノ・場面と絵・ことばを 結びつける

子どもは絵本のどこを楽しむの?



最初は、スプーン、コップなど、知っ ているモノを絵の中にみつけて喜 びます。すこしことばが話せるよう になるとそのモノの名前を言ったり、 実物を持ってきて「おんなじ」という ように、みくらべたりもします。

自分であつかう





























●『ねんね』

さえぐさ ひろこ/文 細川 佳/デザイン アリス館

キツネ、ライオン、ゴリラ、シロクマ、 コアラなど、いろいろなどうぶつたちが、 きもちよさそうにねむっています。



●『**ずかん・じどうしゃ**』〈福音館の幼児絵本〉

スポーツカー、トラック、バス、はしごしゃ パトロールカー、いろいろなくるまが せいぞろい。

山本 忠敬/さく 福音館書店



● 『もう おきるかな』

まつの まさこ/ぶん やぶうち まさゆき/え 福音館書店

どうぶつのこどもたちが、つぎつぎに めをさまし、おきあがります。





●『のせて のせて』〈松谷みよ子あかちゃんの本〉 松谷 みよ子/文 東光寺 啓/絵 童心社 まこちゃんのじどうしゃに、くま、うさぎ ねずみがつぎつぎにのります。



● 『おかあさんとこども』

〈じぶんでひらく絵本1〉 H・Aレイ/作 石竹光江/訳 文化出版局

おとなといっしょの時間が

子どもにとって、絵本をなかだちにして自分だ

けの相手をしてもらえるのもうれしいことです。

おとなの声かけに、「オッ」とか「ウッ」などと、

からだで反応してくるでしょう。おとなはこと

ばを使い、子どもは声や表情・からだを使っ

楽しい

うま、めんどり、うし、ぶた、ねこなど、 つぎつぎとどうぶつのおかあさんがでてきます。 こどもたちはどこかな? おりこみをひらくと、こどもたちがあらわれます。



●『がたんごとん がたんごとん』

みんなでどこにいくのかな?

〈福音館あかちゃんのえほん〉 安西 水丸/さく 福音館書店

「のせてくださーい」とコップやスプーン リンゴやバナナ、ネコにネズミも やってきました。



どんな絵本を選ぶか?

内容と題材



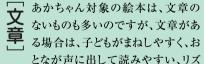
子どもの身近なモノや、食べる・寝 る・顔をあらう・あそぶ・着替えるな どの動作、おでかけ・おきゃくさま・ びょうきなどの身近なできごとがと りあげられていると、よくわかるの で喜びます。

表現



なるべく実物に近い形で、子どもが ふだんみなれた角度から、全体が ふだんみなれた角度から、全体が わかるように描かれているとよいで しょう。

> ただ、あまりに簡略化されたり、また は細かすぎる絵では、特徴がとらえ られません。



ミカルなことばや文章がよいでしょう。



て心を通わせる、これが絵本の魅力のひと

4

「たべもの」





















●『にんじん』 〈いやだいやだの絵本〉 せな けいこ/さく・え 福音館書店 「にんじんの すきなこ だあれ」うまやきりん うさぎ、ぞうも、みんなやってきました。

こおこおころ

A 444 A 54 A

●『**ころころころ**』 〈幼児絵本シリーズ〉

ちいさなたまが、ころころころところがります。

かいだんをころころ、でこぼこみちをころころ。

元永 定正/さく 福音館書店



●『くだもの』〈福音館の幼児絵本〉 平山 和子/さく 福音館書店 すいかをきって「さあどうぞ」 もものかわをむいて「さあどうぞ」。





りんさ ……











●『りんご』〈母と子のえほん〉 ●『いないいない ばあ』 松野 正子/ぶん 鎌田 暢子/え 童心社 〈松谷みよ子あかちゃんの本〉 松谷 みよ子/文 瀬川 康男/絵 童心社 あか、きいろ、ピンクのまあるいりんごを むいて、きって、たべて「ああ おいしい」。 ねこ、くま、ねずみ、のんちゃんもみんな、 「いないいないばあ」をしてあそびます。























●『じゃあじゃあ びりびり』 〈まついのりこあかちゃんのほん〉 まつい のりこ/作・絵 偕成社 じどうしゃはぶーぶー、みずはじゃあじゃあ、 かみはびりびり。いろいろなおとがきこえて きます。



● 『おてて ぱちぱち』 〈あまんきみこのあかちゃんえほん〉 上野 紀子/え あまん きみこ/さく ポプラ社 ねずみさん、うさぎくん、きつねちゃん、 くまさん、あっくんもいっしょに おててぱちぱち。じょうずにできた。

「いろ・かたち・おと」











●『なにいろ?』 〈くもんのはじめてのえほん②〉 本信 公久/作 くもん出版 あかいトマト、あおいふうせん きいろいちょうちょなど

ぜんぶで 10のいろがせいぞろい。

本の造り



子どもが扱いやすい大きさや重さで あることも楽しめる要素です。まず、 幼い子どもが持ったり抱えたりしや すい大きさで、めくるのにつまみや すい厚さ、軽めの造り、ひっぱっても 簡単にはやぶれない用紙がよいで しょう。本は何度も開閉するので、 綴じの部分がしっかりしていること も必要です。

本を投げたり、ふりまわしたりして、 本のカドを自分自身にぶつけてケガ をすることもあります。用紙が薄くて 性 手を切ることもあります。 厚手の用紙、または布のように柔ら

かい用紙で、本のカドが丸く、汚れ

がふきとれるようにコーティングがし

てあると安心です。







こんなときはどうしたらいい? *読んでも反応がない

特別な興味がない限り、すぐに反 応がないときもあります。あわてず ゆっくり読みましょう。聞いていな いようでも心にしみこんでいること もあります。いっしょに絵本を楽し みましょう。

*本を口に入れたり、 ビリビリやぶる

おとなの本の持ちかたをみならって、 だんだん本らしくあつかえるように なります。子どもの様子にあわせて、 口に入れたりやぶったりしてはい けないことをやさしく教えましょう。

